

【令和 7 年度更新確認申請分】

様式第 2 号の 1－②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 1－①を用いること。

学校名	岡山県農林水産総合センター農業大学校
設置者名	岡山県

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の 単位数又は授 業時数	省令で定める 基準単位数又 は授業時数	配 置 困 難
園芸課程	果樹コース	夜・ 通信	1,095時間	160時間	
	野菜コース	夜・ 通信	1,095時間	160時間	
	花きコース	夜・ 通信	1,095時間	160時間	
畜産課程	和牛コース	夜・ 通信	1,095 時間	160時間	
		夜・ 通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.pref.okayama.jp/soshiki/234/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 なし
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	岡山県農林水産総合センター農業大学校
設置者名	岡山県

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	岡山県農林水産総合センター農業大学校学校評議委員会
役割	本校が毎年作成する「評価システムシート」に基づき審議を行う。 1 重点目標や課題、活動計画及び評価指標の設定 2 中間評価及び最終評価 これらの審議に基づき、次年度の活動方針、活動計画へ反映させる。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
国立大学法人岡山大学農学部准教授	2025.4.1 ～2026.3.31	学識経験者
公益財団法人岡山県農林漁業担い手育成財団事務局長	2025.4.1 ～2026.3.31	県内農業担い手育成団体の事務局長
岡山県農林水産総合センター農業大学校後援会長	2025.4.1 ～2026.3.31	農業大学校の在校生及び父兄で組織する会の長
岡山県農林水産総合センター農業大学校同窓会長	2025.4.1 ～2026.3.31	農業大学校卒業生で組織する会の長
岡山県高等学校農業教育協会理事長	2025.4.1 ～2026.3.31	県内農業高等学校で組織する会の長
（備考）		

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岡山県農林水産総合センター農業大学校
設置者名	岡山県

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 【園芸課程・畜産課程共通】 1 授業計画書の作成過程 - 岡山県農林水産総合センター農業大学の授業に関する規程(以下「授業規程」という。)第 2 3 条第 1 項第 1 号及び第 2 4 条の規定により、岡山県の農業の現状、農業に求められる人材等に必要な知識及び技術等の教育の観点に基づいて、成績等認定委員会が審議を行い、授業の方法及び内容、成績評価方法等を含めた授業計画を作成する。 2 授業計画書の作成・公表時期 - 大学の行事や資格試験、講師日程等調整しながら作成し、毎年度末に公表する。	
授業計画書の公表方法	公表URLアドレス https://www.pref.okayama.jp/soshiki/234/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 【園芸課程・畜産課程共通】 1 岡山県農林水産総合センター農業大学校校則(以下「校則」)第 20 条及び授業規程に基づき、適正に評価し、教授科目の修得を認定する。 2 学生が所定の教授科目を履修した場合には、考査を行い、合格した者に対しては教授科目の修得を認定する。 3 やむを得ない事由により、考査を受けることができない者は、再考査願により、考査を受けることができる。 4 考査の結果不合格となった者は、再考査願により再考査を受けることができる。ただし、再考査に合格した者は 60 点とする。 5 考査は、試験・論文・報告書その他により行う。 6 考査の成績は、80 点以上を優、80 点未満 70 点以上を良、70 点未満 60 点以上を合格とする。 7 成績の認定は、授業規程第 24 条及び第 25 条の規定により、成績等認定委員会の審議により校長が決定する。	
3. 成績評価において、G P A 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

【園芸課程・畜産課程共通】

- 1 岡山県農林水産総合センター農業大学校 GPA 制度の取扱いに関する要項に基づき、適切に実施する。
- 2 本校校則第 20 条に定める履修科目の評価に与えられる数値グレード・ポイント点数は下表のとおりとする。
- 3 GPA は、次の式により計算するものとし、算出された数値が小数点以下 2 位未満の端数があるときは、四捨五入し、少数点以下第 2 位までを表記するものとする。

$$\text{GPA} = (4 \times \text{「優」単位数} + 3 \times \text{「良」単位数} + 2 \times \text{「可」単位数} + 0 \times \text{「不可」単位数}) \div \text{総履修単位数}$$

評価	試験等の点数	GP 点数	可否
優	80 点以上	4	合格
良	70 点以上 80 点未満	3	合格
可	60 点以上 70 点未満	2	合格
不可	60 点未満	0	不合格

客観的な指標の
算出方法の公表方法

公表 URL アドレス

<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/234/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

○卒業の認定方針：教育目標に基づき次の能力を修得させる。

- 1 高度な知識や技術を習得し、情報化が進む社会に対応した教養を身に付け、経営環境や経済情勢の変化に対応できる能力。
- 2 自己の経営を分析して問題点を見いだして自ら解決するとともに、地域農業の組織化、協同化を推進する組織リーダーとして行動する能力。
- 3 郷土愛の精神を強く持ち、地域社会、地域文化を発展させる能力。

○卒業の要件及び判定基準

- 1 授業科目及び授業時間数は、校長が別に定める（教育計画）どおりとし、学生はこれを履修する。（校則第 19 条）
- 2 考査の結果、選択科目を除き不合格科目のある場合には進級又は卒業を認めない。（校則第 21 条）
- 3 成績等認定委員会の審議により、校長が卒業を認定する。（授業規程第 26 条）

卒業の認定に関する
方針の公表方法

公表 URL アドレス

<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/234/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	岡山県農林水産総合センター農業大学校
設置者名	岡山県

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	法人設置ではないため記載不要
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
農業		園芸課程	果樹コース 野菜コース 花きコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,403単位時間	531 単位 時間	363 単位 時間	1,254 単 位時間	42 単位時 間	111 単位 時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70 人		58 人	0 人	7 人	2 人	9 人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
農業		畜産課程	和牛コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,403単位時間	510 単位 時間	363 単位 時間	1,266 単 位時間	54 単位時 間	111 単位 時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人		58人	0人	7人	2人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）
1 授業の方法：講義・演習・実習・実験・実技及び特別活動
2 内容：全課程の学生が履修する教養科目、特別活動及び共通専門科目、各専攻毎に分かれて履修する専門科目及び専攻科目、畜産専門（専攻）科目からなる。

3 年間の授業計画：本校が毎年作成する「教育計画」に記載する。
成績評価の基準・方法
(概要) 1 「岡山県農林水産総合センター農業大学校 GPA 制度の取扱いに関する要項」に基づき、適切に成績評価を実施する。 2 本校校則第 20 条に定める履修科目の評価に与えられる数値グレード・ポイント (GPA) 点数により、評価する。 3 GPA は、次の式により算出するものとし、算出された数値が小数点以下 2 位未満の端数がある時は四捨五入し、少数点以下第 2 位までを表記するものとする。 $GPA = (4 \times \text{「優」単位数} + 3 \times \text{「良」単位数} + 2 \times \text{「可」単位数} + 0 \times \text{「不可」単位数}) \div \text{総履修登録単位数}$
卒業・進級の認定基準
(概要) 1 授業科目及び授業時間数は、校長が別に定める教育計画のとおりとし、学生はこれを履修しなければならない。(校則第 19 条及び授業規程第 16 条) 2 考查の結果、不合格科目のある場合には進級又は卒業を認めない。(校則第 21 条) 3 成績等認定委員会の審議を経て、校長が卒業を認定する。(授業規程第 23 条及び 26 条)
学修支援等
(概要) 1 基礎学力の向上を図るため基礎数学の講義を実施(特別講義)。 2 学力の到達度を確認するため、年 2 回「日本農業技術検定」の受験を指導し、受験対策のための講義を実施(特別講義)。 3 大型特殊自動車免許等、農業に必要な車両運転の技能ほかの資格を取得するための研修を実施(応用技術研修)。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
園芸課程 31 人 畜産課程 1 人 合 計 32 人 (100%)	園芸課程 1 人 畜産課程 0 人 合 計 1 人 (3.1%)	園芸課程 28 人 畜産課程 1 人 合 計 29 人 (90.6%)	園芸課程 3 人 畜産課程 0 人 合 計 3 人 (9.4%)
(主な就職、業界等) 農業法人・農業団体・農業関連企業			
(就職指導内容) 岡山県農業会議を通じて県内農業法人を招聘し、年 2 回、学内で「農業法人説明会」を開催し、学生に聴講させている。 先進的経営体及び関係法人への視察研修を随時実施し、その経営内容や将来展望について実地に学ばせている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 大型特殊自動車免許(農耕車限定)、けん引免許(農耕車限定)、アーク溶接等特別教育修了者、フォークリフト運転技能講習修了、小型車両系建設機械運転特別教育修了、刈			

払機取扱作業安全衛生教育修了、危険物取扱者乙種第4類免状、日本農業技術検定(1・2級合格者)、農業簿記検定(1～3級)合格者、フラワー装飾技能士(2・3級合格者)、狩猟免許(わな猟)、家畜人工授精師免許、2級認定牛削蹄師、家畜商免許 (備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
61 人	4 人	6.6%
(中途退学の主な理由) 経済事情及び一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入試時に志望動機を精査し、本学入学の適性を見極めている。在学中は、勉学及び寮生活に関する学生自身の問題を早期に発見し、保健師によるメンタルヘルス相談及び関係職員によるヒアリング等を通じて、本人への指導を行う等適切に対応している。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
園芸課程	0 円	118,800 円	624,200 円	その他は、教材費・寮食費・寮光熱水費ほか
畜産課程	0 円	118,800 円	624,200 円	その他は、教材費・寮食費・寮光熱水費ほか
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 公表URLアドレス www.pref.okayama.jp/soshiki/234/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
次に掲げる目標に基づき学校評価を実施する。 1 教育目標 岡山県農業の次世代を担う人材の育成及び就農支援 2 重点目標 (1) 農業を志す意欲ある学生の確保 (2) 農業大学校の魅力向上 (3) 就農促進と進路指導体制の強化 (4) 応用技術研修等、多様な研修プログラムによる地域農業の担い手の育成 ・評価委員会は職員を委員とする自己評価委員会と、外部構成員（下記）3名以上からなる学校評議委員会で構成され、相互に連携して評価にあたる。評価結果を踏まえ、改善方策や目標、活動方針を年度末までに策定し、次年度の活動に活かすとともに学校の運営改善にあたる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
国立大学法人岡山大学農学部准教授	2025.4.1～2026.3.31	学識経験者
公益財団法人岡山県農林漁業担い手育成財団事務局長	2025.4.1～2026.3.31	県内農業担い手育成団体の事務局長
岡山県農林水産総合センター農業大学校後援会長	2025.4.1～2026.3.31	農業大学校在校生及び父兄で組織する会の長
岡山県農林水産総合センター農業大学校同窓会長	2025.4.1～2026.3.31	農業大学校卒業生で組織する会の長
岡山県高等学校農業教育協会理事長	2025.4.1～2026.3.31	県内農業高等学校で組織する会の長

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 公表URLアドレス www.pref.okayama.jp/soshiki/234/
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 公表URLアドレス www.pref.okayama.jp/soshiki/234/
